



まだくれたことのないので、どんなことになるかし

二國
日和
にそ
りひ
き樂
しは

まきす // マスエ
歌俳句いくつか残し卒業生
吹雪く夜のげんかんにある
犬のあと // スミ子
兄弟でタコあげている山の
村 // 重雄
落の苔土手に句いて今日も
雨 // トミ
雛祭りわが家に飾る人形な
し // シゲノ
新草をつつく雀や日をあび
て 卒補 康

年よりの高血症を往診
歸り際に、キチンと診

年よりの高血症を往診して歸り際に、キチンと整理された炊事場が目についた。若い主人に「これは最近

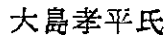
少しでも村を住み良くし

窓あけて汽車走りおり風の
下 さいづりや室に友なき針運
ふ 町へ來て明るくオーバ梅に
ぬぐ 下宿屋の友は春眠師の句讀
む 煤け雛の顔拭きてより祭り
けり 戀仲で嫁ぐと聞けり春の宵
式 袖無しを脱げば分校の卒校
午を告げぬ いかのぼり澄みてサイレン

雪が消え野良に出る。

日焼けが非常に氣になるものですが、クローバやヨモギなど、野生の草をきざさんで、アルコール(薬用)に一度、晩ぐらいつけるときれいな緑色の液ができます。それをクリームに混ぜて皮膚にすりこむと、含まれている葉緑素が紫外線を吸収し日焼けを防ぎます。

大島孝平



此度私は中里村公民館長を仰付かりました。

しかし其の不適任なる事は、自らが一番良く承知して居るのでありますが、其の非才を不顧驚馬に鞭打ち勇を鼓してお引受した様を次第であります。

村民各位の絶大なる御協力を御願致します。

公民館の目的は、住民の實際生活に即する教育、實

する事業を行う事であり、
すから、實にその範圍は無

限であると思うのであります。

たま／＼先般青年學級閉講式に臨みまして、青年男

開花期後の天候心配

高井技師
 開花期後の天候心配

新瀉氣象台の長期予報によい見込み。

又過去の経験した事實

四月、三月下旬からの天
候變動がもち込まれるかも
ら豊作の翌年と申年は豊
にならないだろうと推測

知れないし、下旬は降霜の
慮があり、霜害に注意する
即ち昭和に入つては、

五月から七月迄、平年並に 経過する見込みだが、毎雨 必要がある。	五 年	六 年	七 年	凶	凶	豊
--	--------	--------	--------	---	---	---

六月十日前後に入り、七月

凶 豐 凶

年 年 年

十日前後にあける。降水量は梅雨入りと明けに豪雨が	十年 十四、十七年 豊凶
--------------------------	--------------------

八月は壬午なる處あり	予想され	例年を上廻る見込み。
二八年	二十年	二七年
凶	豊	凶

九月例年並か多少天候は
であり、更に昭和十九年

[illegible]

「よくやつたねえ、然しこれで女衆の労力はすゝと助かるし、壽命が十年くらいいひるだろうよ、三万や五万にはかえられないぜ」

「こんどは炊事場の隣を食堂にして、忙しいときは食事は無駄をばよくようにやるつもりです。風呂湯の改造と水道も引きたいのですがこれは金がかかりますからね、何時出来ることだか」と笑いながら語る主人や妻の顔の何んとも明い事

生活改善

楽しい生活を送るためには、出来るだけお互が話し合つて、物事をきめて行く事だと思ひまして、昨年の冬毎月の婦人講座と名付け集つて、一應の原案を作つて春の部落總合に提案しました処、幸いにも殆んど修正されずに通りまして、それ以後その通り守られ乍らお互に喜こばれて居りますので、まだほんの生活改善の緒口ですが報告させていただきます。

申合せ事項

- 一、婚禮
- イ、祝宴は一飯で日歸りの事

三十一回の申年の天候と米の作柄を調べて見た結果、蠶作は僅か二回、平年作十回、不作九回、凶作六回不明一回という結果であるから、申年の作柄について不安がる人も居るわけである。

稲作の安全多收は改良苗代による早播早植から、本年は肝心の幼穗形成期から出穂開花迄が丁度八月の低温におつかつて冷害と逆行がなくとも低温障害で稔實粒数がぐんと減る心配が多分であり、低温におつかつたは至難であるが、今年の稲作は早生に重点を置き、低温障害に備へた農作業が必要と考えられる。

先ず第一に挙げねばならないことは何度も襲うかも知れないという低温と冷水灌漑は稲の生育を遅らす懸念がある。

これを防ぐには障害の多い水苗代では早まき出来ないのでから保温及簡易折衷苗代（ビニール被覆畑苗代）（温床苗床を含む）等の改良苗代で早播（四月二十日頃より播種）し、健苗を早植（五月二十日頃より田植する）することである。

從來は早植すると心虫の被害を受け、減収すると

ロ、祝宴に新即新婦同席の事
ハ、ノゾキ見は絶対しない事
ニ、茶見招びはやめ嫁の荷物は一切見せない事
ホ、里歸り土産は配らぬ事
二、孫祝は内孫のみで一飯の事
三、厄祝は当事者同志で行い招待はしない事
四、参宮祝は参宮者のみで出来るだけ簡素にする事
五、葬祭 省略
現在の處主な項目は右の様ですが、この冬も講座を毎月開く予定ですし、部落の水道化を目指して婦人水道貯金やら、農協の婦人貯金を續けて居ります。
(倉俣本村婦人會)

日焼けの藥

雪が消え野良に出るようになると若い者にとつては日焼けが非常に氣になるものですが、クロイバやヨモギなど、野生の草をきざんで、アルコール(藥用)に一度、アルグらいつけるときれいな緑色の液ができます。それをクリームに混ぜて皮膚にすりこむと、含まれている葉緑素が紫外線を吸収し日焼けを防ぎます。

いわれていたが、ホリドル等の新藥の出現でたちまち解決出来、早植を實行すると稻が丈夫に生育し、収量が安定するばかりか、好天に恵まれると予想外の増収をする。

しかし冷水の漏水田、排水不便田、裏作實施田等は早植が出来ないから所有田を調べた上田地別の田植時期を決めるべきである。

窒素質肥料は控目に、稲は施用した肥料分と土壌中の養分とを吸収し、豊作の年は地力の消耗が頗る大きいので、本年は特に堆厩肥の増植を計らねばならないが、窒素質肥料の増肥を図らねばならぬ。

窒素質肥料は予想される芳しくない天候から昨年施用量の一ノ二割は控え目にしたほうが無難であろう。窒素が多いと様々に障害が起る。

徒長軟弱になつてイモチ病に罹り易く倒伏し易くなり、更に低温の抵抗力が弱くなり、取りかえしがつかなくなるから、施用量を決めるには慎重を期してほしい。

磷酸肥料の過石は全磷酸施用量の三割程度とし、加里は二ノ三ノ程度でよしと

(二面下へ続へ)

渡辺技師

金の夢を見ておりますが、最も手近にある桑園の改善こそ、唯一の収入源であることを自覺して、いろいろ迷わず一途桑園改良に心が

板橋龜治

瓜を栽培できるか。第一は品種であるが、砂糖南瓜は小形ではあるがどこも甘い、但し數量は少い。早生黒皮や普通のカララ南瓜は概して食味はよい。甘くするには附近の畑に夕顔や甘瓜を作らぬこと、

多くすること。途中で落果させないためには、堆肥藁を一尺位底にやつて、その上に水肥をかけ土にまざる。

次はもぎ方

日本種は肌に近い粉が出来た時、莖についている部分が角のようになった時收

捨ておくと二番が晩熟で收穫の絶對量は少くなる。

俾が大きくないと親爺は安心して仕事をしなくなると同斷である。

日蔭へ作つたらどんなに世話をしても大きくなるが食味は劣等であることを告げてはならない。

から施用するとよい。

第一回の除草は生育の促進を図るため田植後十日以内に始め、遅く迄除草すると根が傷んだり、肥料がいづ迄も効き過ぎて生育遅延をするから止草を早目に切り上げ、早植の効果を更に助長してほしい。

倉俣中學校と田澤中學校

は、合流して三年生の修旅行を五月十五日東京、鎌倉方面に二泊三日予定で實施することになった。

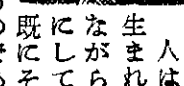
く持つこと。

十、食事中下品な話や不快
心の中（口に出さずとも
九、食事の前後は挨拶を忘
れぬ様（口に出さずとも
八、食卓の上下を汚さない
こと。食器の位置を乱さ
ないこと。
七、食卓の上下を汚さない
こと。食器の位置を乱さ
ないこと。
六、食卓の上下を汚さない
こと。食器の位置を乱さ
ないこと。
五、食卓の上下を汚さない
こと。食器の位置を乱さ
ないこと。
四、食卓の上下を汚さない
こと。食器の位置を乱さ
ないこと。
三、食卓の上下を汚さない
こと。食器の位置を乱さ
ないこと。
二、食卓の上下を汚さない
こと。食器の位置を乱さ
ないこと。
一、食卓の上下を汚さない
こと。食器の位置を乱さ
ないこと。

お
わ
か
れ

五年 大口 律子

高橋幸作氏



人は生まれながらにして既にその人柄を持つているのである。老若誰でもよし、全く手の腹の中に人つて欲談する、この人の持味は言う言われぬ風雅をかもす。

村政を担う人々

(3) 第4号

人の侍の志村喬になんとなく以たところがある」と或人は云つたが……目玉のきよらつくところか、人なつこいあの笑顔の時か、快刀乱麻を斷つ感の言動か、そういうわれてみればなるほど似ている。

違ふところは、片や七人の統領であり、これはこれだ一升位の時だ。

豪放な、そして精悍なその風姿の反面、花をみづから手作る優雅さで持ち、酒間偶々興到れば寸軸を疊の上に振り撒くにして燐寸軸を拾い上げ、妙技を見せてくれる時はだ。

愛も燐しい時る
 いた言葉の初めと、そしてで骨を向けて刺させよ
 中間と終りの句調をなつか
 しく思い出す。
 この人ほど何の技巧もな
 い、飾氣を持たない、と言
 つても蒙昧の素朴でない。
 誠實そのものゝ人格者は
 か。
 まあまり居ない様だ。
 むしろ人徳者といつたほ
 種……「朗々と首頭を上

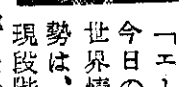
公民館長

「不肖、私どもとしましては、……でございます」
如何に晴がましい盛大な
舞場であらうと、如何にさ
やかな小會合の席であら
うと、全く區別なく、挨拶
に、祝辭にいつも冒頭に書
き、その人柄は、云ふこと
に、又もの腰にそつくり
わされ、眞情は常にその
邊に、にじみ出ていると
つた感じ、骨がないとか
飛び込んでくる人にな

農業委員長



廣田要吉氏



……のでありましてエ」の調子は正に世界連邦共和国大統領の演説と公民館の山本君は評したが、手離して聞いていると何處迄ひろげてゆくのか想像できない。形勢不利とみればハハハハで蹴散らすたりの掛引は他の追従を許さぬところ。

新しい政治家に逸早く脱皮したことは、常にデーターを求めることに真剣であることがうかがえる。

若い者に時々データーを出せ、後は僕が引受ける。之が近頃の氏の常用語だ。ある人が言つた、この言ひ正によし。

三 行 知 識

にんにくの皮をむいてお
の中へ入れておくと虫が
かない。

縣農業會議員、土地改良理事長等多くの公職をも乍ら、家では一人である百姓を手際よく、理しているあたり一寸眞の出来ないところ。要するにデーターである。は詳しく政治家という。日の政治は正確なデーターなくしてあり得ない。廣田氏もいつの頃からか新しい政治家に逸早く脱皮したことは、常にデーターを求めるところに眞剣であることがうかがいる。

若い者に時々データーを出せ、後は僕が引受ける。とが近頃の氏の常用語だといふ人が言つた、この言や正によし。